

Deutschland

Frankfurt am Main (フランクフルト・アム・マイン) 通信

1

佐々木敦史のドイツ生活日記

定刻 TIME	変更時刻 WILL DEP.	行先/経由地 TO/VIA	航空 機
11:05		WASHINGTON DC	
11:10		MUNICH/SEOUL	
11:20		PARIS	
11:25		MUMBAI	
11:30		FRANKFURT	
11:30		LONDON	
11:30		VIENNA/BEIJING	
11:30		SINGAPORE	
11:40		LONDON	
11:40		COPENHAGEN	
11:50		MUNICH	
12:00		BANGKOK	



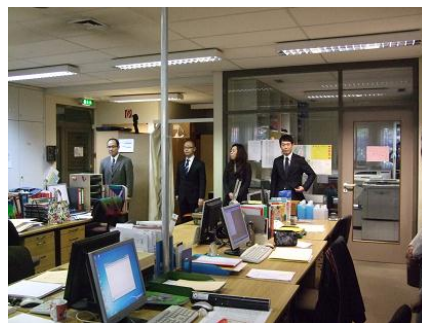
4月6日

前日に文部科学省で辞令をもらい、次の日に成田空港から出国。大げさな荷物チェックもなくスムーズに機内へ。空港ラウンジでは個室を用意してくれた。予定時刻より少々遅れ離陸。フライト時間は約12時間。寝ても寝ても空の上で子供たちはグッタリ。



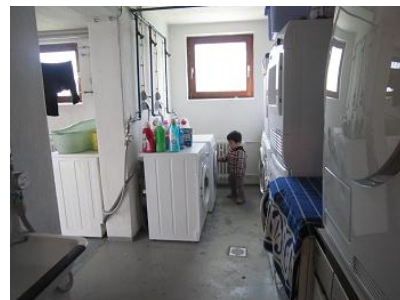
4月6日

現地夕方にフランクフルト国際空港到着。フランクフルト日本人国際学校教職員全員で出迎えてくれた。バスをチャーターして、赴任した4家族の新居へ荷物を運んでくれた。行き交う車はBMW、ベンツ…たまにポルシェ。日本の高級車がここでは国産車。



4月7日

この日から出勤。教室は大きな扇風機、ブラインド完備。机、椅子はドイツらしく重厚感ある広々とした木製。放課後には掃除婦さんたちが掃除をしてくれるので、生徒の教室掃除は一切なし。私服登校で給食は無く、お弁当持参。自由な雰囲気学校だ。



4月

我が家はこんな感じ。ドイツの家の窓はシャッターがある。夜は9時過ぎまで明るいので7時くらいにはシャッターを下ろし、強制的に夜を作っている。ドイツの多くの集合住宅には共同洗濯場があり、各家庭で洗濯機を設置している。



4月24日

キリスト復活祭。近所の方々がお菓子をたくさんもらった。お礼のお手紙を書いて玄関ドアに貼ったが、ドイツ語が分からずとりあえずDanke(ありがとう)と書いておいた。復活祭には生命力の象徴としてウサギと色を塗った卵を飾るようだ。

